

実践的な技術力向上へ研修会

28日には新潟市で報告会開催
—— 県コンクリート診断士会

県コンクリート診断士会（会長：地濃茂雄新潟工科大学名誉教授）は先ごろ、コンクリート診断士の技術力向上に向けた「現場研修会」を実施。生コン業者をはじめ、行政や施工業者の担当者など約40名が参加した。

今回の現場研修会は、村上・山北地域の海岸に隣接するコンクリート構造物の劣化状況などについて理解を深めることで、その評価や補強技術の構築、維持管理方法を探り、より実践的な技術力の向上を図るため実施したものの。

研修会では、経年30年から60年のRC校舎体育館や橋梁、隧道などを診てまわり、長寿命化の手法などについて活発な意見を交わした。



現場研修会のようす

また、同会では、今回の現地研修会の報告会を10月28日に

新潟市のほんポートで開催する。

報告会は「28年度・技術セミナー」として開かれるもので、研修会報告のほか、地濃会長をコーディネータとするシンポジウムも行われる。

セミナーは一般にも公開して行われ、入場は無料。参加申込みは7日まで。詳しくは同会事務局（電話025-232-7121）まで。